

2026 年 8 月 27 日

報道関係各位

株式会社ジェイアール東日本企画

一般社団法人 TMIP

Cheering AD「ファン応援ビジネス拡張プロジェクト」始動

—高松空港を舞台に、“推し活”を起点とした新たなファン体験・地域消費モデルを実証—

市場規模約 8,000 億円の国内ライブ市場を背景に、ファンマーケティングの新たな可能性を検証

株式会社ジェイアール東日本企画（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：石川 明彦）が運営する応援広告事務局「Cheering AD」は、大企業の新規事業創出支援や大企業とスタートアップ、産・官・学・街との連携で事業創出を目指すオープンイノベーションプラットフォーム Tokyo Marunouchi Innovation Platform (TMIP) と高松空港株式会社の協力のもと、「ファン応援ビジネス拡張プロジェクト」の実証を開始します。

国内ライブ・エンタテインメント市場が約 8,000 億円規模へと拡大し、地方都市での大型ライブ開催が増加する一方、来場者による地域消費や観光への波及は十分とは言えず、ライブを起点とした新たな地域経済への価値創出が求められています。こうした背景を踏まえ、本実証では、高松空港を実証フィールドに 2026 年 8 月から 10 月にあなぶきアリーナ香川（香川県立アリーナ）で開催されるライブ※開催時期に合わせて、ファンの行動変容や消費創出、地域への経済波及効果を検証します。空港内での体験演出や物販施策、来訪者データの分析を通じて、「応援・体験・消費」が自然に連動する新たなファンマーケティングのビジネスモデル構築を目指します。

なお、本プロジェクトは、大企業を対象に「社内外の壁を越えて新たな価値・事業創出に取り組んでいる優れた事例」を表彰する制度「[TMIP Innovation Award 2025](#)」において最優秀賞を受賞した「Cheering AD」に対する事業伴走支援の一環として実施するものです。一般社団法人 TMIP は、受賞後も発信機会の提供や共創パートナーとのマッチング、実証フィールドの探索などを通じて事業成長を支援しており、本実証は一般社団法人 TMIP が高松空港株式会社との共創機会を創出し、空港の新たな価値検証を目的に実施するものです。

※本実証は特定アーティスト・IP との公式コラボレーションではありません。



高松空港 外観

■実証概要

【名称】 ファン応援ビジネス拡張プロジェクトー高松空港をフィールドとした“推し活”体験創出実証ー

【実施場所】 高松空港

【対象期間】 2026年8月28日（金）～8月31日（月）／2026年9月18日（金）～9月22日（火）／
2026年9月29日（火）～10月2日（金）

【対象イベント】 あなぶきアリーナ香川（香川県立アリーナ）で開催されるライブ開催期間（8月29日～30日、9月19日～21日、9月30日～10月1日）※特定アーティスト・IPとの公式企画ではありません。

【キャンペーンサイト】 https://cheering-ad.jeki.co.jp/pages/oshitrip_takamatsu

【実施内容】

①空港内体験演出

空港内にフォトスポットやビジュアル演出を設置し、ライブ来訪者が到着直後から楽しめる「空港からはじまる推し活体験」を創出します。撮影やSNS共有を促進し、空港での滞在価値向上を図ります。

＜設置場所＞：1階到着ロビー前、2階国内線出発ロビー前 ※画像はイメージです



②空港内物販・消費連携

空港内店舗と連携し、テーマカラーに合わせた商品展開（VMD）やクーポン施策を実施します。ファンの体験と購買を結び付け、空港内での消費創出や回遊促進の可能性を検証します。

＜対象店舗＞：四国空市場（YOSORA）



③データ駆動によるファンマーケティング検証

フォトスポット利用状況、空港内での回遊・滞在行動、物販利用、クーポン利用などのデータを収集・分析し、ファンの行動特性や体験価値を可視化します。

取得したデータをもとに、来訪者の行動変容や消費行動を分析し、ファン応援ビジネスにおけるデータドリブンマーケティングの有効性を検証するとともに、今後の事業化・横展開に向けた知見の蓄積を目指します。

【実施場所 MAP】



■企画背景

ぴあ総研「[ライブ・エンタテインメント白書](#)」によると、国内ライブ・エンタテインメント市場規模は 2025 年に約 8,564 億円となり、3 年連続で過去最高を更新する成長局面にあります。地方都市でのアリーナ公演も増加傾向にあり、数万人規模の来場者が一時的に流入するケースも珍しくありません。一方で地方開催には、日帰り来場による地域消費への波及が限定的であることや、観光・商業との接続が弱いといった課題が存在しています。こうした背景を踏まえ、本プロジェクトでは「Cheering AD」が持つ“熱量の高いファンコミュニティ”を起点に、体験や場、消費を組み合わせた新たなビジネスの創出を検証します。

■検証のポイント

- ・滞在時間／回遊行動
- ・フォトスポット、物販利用
- ・体験評価

■各社の役割

株式会社ジェイアール東日本企画／Cheering AD：企画・体験演出・送客、ファン応援ビジネスアセット活用
高松空港株式会社：実証フィールド提供、施設運営連携
一般社団法人 TMIP：実証全体設計・プロジェクト推進・成果検証支援

■今後の展開

本実証で得られた知見をもとに、空港におけるファン応援ビジネスの事業モデル化を目指すとともに、二次交通や地域施設との連携を含めた「移動全体を推し活体験化する」仕組みへの発展を検討していきます。さらに、地方空港や大型イベントなどへの横展開を視野に入れ、ファン応援ビジネスの新たな市場創出に取り組んでまいります。

■参考）各社の概要と取り組み

【株式会社ジェイアール東日本企画】

株式会社ジェイアール東日本企画は、JR 東日本グループの総合広告会社です。駅・車両・エキナカといった鉄道ならではのアセットと、これまで培ってきたマーケティングノウハウを掛け合わせ、広告領域にとどまらない独自のビジネス企画の開発・提案に取り組んでいます。

<応援広告「Cheering AD（チアリング アド）」>

Cheering AD は、ジェイアール東日本企画が運営する、ファンの想いを"カタチ"にする応援広告サービスです。駅ポスターやビジョン広告といった応援広告に加え、ファンとともに応援の場をつくり上げる参加型企画も展開し、スポーツ・イベント・ライブなどさまざまなシーンで新しい応援のあり方を生み出しています。

<https://cheering-ad.jeki.co.jp/>

【高松空港株式会社】

高松空港株式会社は、香川県の空の玄関口である高松空港の運営・管理を担う企業です。国管理空港における全国で2例目の民営化空港として、2018年に空港運営を開始しました。空港施設の維持管理や航空会社との連携、国内外の路線誘致、商業施設の運営、利用者サービスの向上などを通じて、地域の交流人口拡大と観光振興に貢献しています。また、安全・安心を最優先に、「空港から人と街を元気に」をスローガンに掲げ、快適で利便性の高い空港づくりを推進するとともに、四国全体の発展を支える交通インフラとしての役割を果たしています。地域や行政、民間企業と連携し、新たな価値を創出することで、持続可能な空港経営と地域活性化の実現を目指しています。

【一般社団法人 TMIP】

一般社団法人 TMIP は、丸の内エリア(大手町・丸の内・有楽町)のイノベーション・エコシステム形成に向けて、Tokyo Marunouchi Innovation Platform (TMIP) を運営しています。TMIP は、大企業とスタートアップ・官・学が連携して社会課題を解決することで、イノベーションの創出を支援するオープンイノベーションプラットフォームです。会員、パートナーを含めると400社を超える組織になります。

<事業成長の起点となる、共創型アワード「TMIP Innovation Award」とは>

2023年に設立され、年に一度東京・丸の内で開催される大企業発の“新規事業創出”を表彰する制度「TMIP Innovation Award」。TMIPは本アワードを通して、次なる本業となり得る事業の市場性や革新性、社会インパクトのみならず事業創出に向けた仕組みや工夫にも注目し、大企業の中で挑戦を続ける方々の実践知を発信することで、大企業がオープンに新規事業へ挑戦する社会を目指しています。受賞事業には発信機会のご提供や事業成長に必要なプレイヤー、技術の探索まで『共創型』アワードとして、事業の伴走支援を行っています。